

## 三重県アセアンビジネスサポートデスク現地レポート

平成28年1月27日

三重県アセアンビジネスサポートデスク

株式会社野村総合研究所（NRI）

### [タイ]産業クラスター政策を公表

タイ政府は、2015年11月に新しくかつ追加的な投資誘致政策として、産業クラスター政策を公表した。同時に、今後の成長産業として、次世代自動車、スマート・エレクトロニクス、医療・健康観光、農業・生物工学、食品加工、ロボット工学、航空・ロジスティクス、バイオ燃料・バイオ化学、デジタル産業、医療ハブの10産業分野を指定し、投資誘致を図ると発表した。また、2022年までに当該10産業分野での対タイ投資額に占める割合を60%以上まで引き上げることを目標として掲げた。

産業クラスター政策は、4つのスーパークラスターと2つのクラスターから構成される。スーパークラスターとは、自動車、電子機器・通信、石油化学、デジタル産業の4つであり、クラスターとは、食品加工・農産物と繊維の2つである。そして、それぞれの産業に応じて、特定の県・地域に上流行程から下流行程まで一通りのバリューチェーンを構築・強化することとなっている。例えば、自動車ではアユタヤ県、チョンブリ県など既往の自動車・同関連産業の集積地が指定されている。

投資委員会（BOI）では、具体的な優遇策を早急に取りまとめ、2016年末まで産業クラスター政策に基づく投資申請を受け付ける予定としている。しかし、2015年からの従来のゾーン制を撤廃した投資誘致政策、国境沿いの特別経済区（SEZ）政策などとの整合性は不詳であり、具体策の発表が待たれている。

### [タイ]タイ人の訪日客数、2015年は約80万人を達成

日本政府観光局（JNTO）によると、2015年のタイ人の訪日客数は797,600人と約80万人を達成した。2014年の65.8万人より21.2%の増加であった。他のアセアン主要国からの訪日客数（2015年）は、シンガポール（30.9万人）やマレーシア（30.6万人）、フィリピン（26.8万人）、インドネシア（20.5万人）、ベトナム（18.5万人）となっており、比較してタイからの訪日客数の多さがうかがえる。